

令和 4 年度
自己評価・学校関係者評価

教育目標	「心豊かにたくましい子どもを育てる」 「人を思いやる豊かな心を形に・・・」を念頭に基本的生活習慣を身につける
------	---

※自己評価は 4 段階評定 項目別コメントは自己評価報告書に記載 自己総合評価及び学校関係者評価は ABC 評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	総合評価	評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	3	A	A	教育目標に対する意識が高く、一人一人を尊重した指導力を高く評価します。基本的生活習慣を中心に挨拶等の具体的場面での指導に積極的な姿勢があります。今後も様々な状況での具体的な指導により、豊かな心の表現に努めることに期待します。
子ども達が元気よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3			
毎日の活動で社会的生活習慣を身につける為の指導は十分に行った。	3			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	B	A	コロナ禍の制限された状況にも関わらず、多くの教育計画を行い実施しております。過去の計画が利用できない特別な環境での計画は、教職員の創造力と実現しようとする意欲によるものと評価出来ませんが、当園の「強み」である行動的な部分にはやや不足に思います。今後一層の努力に期待したいと考えます。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	3			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	3			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	3			
行事等の計画とその運営は適切であった。	4			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	3			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	3	B	B	近年の極めて限定的な環境での活動には、教育現場で活動する教職員の苦勞を感じます。このような状況にも関わらず、工夫と現場対応により一定の効果は認められますが、保護者の期待に即した結果かについては、やや不足感があります。制約下以前の積極的・行動的な活動を期待しています。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	3			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	3			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	3			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	A	A	コロナ感染防止対策をはじめとする、健康管理や施設安全対策に関する教職員の意識は、非常に高く評価します。日常発生しうる事故に対する安全対策についても、確実な運営が確認できます。更に、教職員自らの体調管理に対する管理も行われています。今後もヒューマンエラーが無いよう努力されたい。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	4			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	4			
うがい・手洗い等の基本的生活習慣の習慣化が図れた。	3			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	3			
自らも体調管理には十分注意している。	4			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	3	B	B	コロナ禍による保護者との接触場面が減少する中で信頼関係構築は、非常に困難かと想像できます。こうした状況でも、クラスでの一つ一つの活動を献身的に行い、園児一人一人を尊重した指導が確認でき、信頼関係は良好だったと感じます。今後も教職員各自の教育技術と品格を高める意識を求めます。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	3			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	3			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	3			
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	4			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	3			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	2	C	B	最近の研修は、コロナ禍の影響でリモートによる研修が多く選択肢も少ないように思います。教職員の中にも、やや研修に対するモチベーションの低下があります。特に教育レベルの低下が見られることではありませんが、今後は園内研修を充実し毎日の教育活動に生かすよう望みます。
研修に参加するのは楽しい。	3			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	2			
今後研究したい課題やテーマがある。	3			

7. 保護者・地域との関り

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	B	B	外部イベント減少により、参加要請が激減しています。この為、外部への発信力の低下が見られ、当園の「強み」が活用されません。今後、参加可能なイベントの発掘に心掛けたい。保護者に対する関わりについては、子ども達の成長を通じた積極的な活動により一定の効果を確認します。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	3			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	4			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	3			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	3			
「ミッキー広場・ココサークル」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	3			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	3	B	B	令和 5 年度には、コロナウイルス感染状況にも区切りをつける年になりそうです。積極的な活動に期待したいと考えます。苦難の中でも、教職員各自の向上心とチームワークの良さを強みに、明るく元気な幼稚園の運営に務めることを望みます。
梨花幼稚園（組織）の一員として協働することができた。	3			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	3			
職務のマンネリ化防止に努めている。	3			
子どもに要求することは自らも実行している。	3			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	3			

令和 5 年 3 月 4 日

当評価委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等について、現状を踏まえ評価を行い以上の通り報告いたします。

学校法人鷺巣学園 学校関係者評価委員会
議長 太田 光雄

